

「海外現地実習（２）」（ベトナム）

研修先について

研修先のベトナム・フエは、中部に位置する古都であり、国内外から多くの人々が訪れる観光地です。近年は経済成長・開発が進み、変貌を遂げていますが、環境・社会問題への取り組みが遅れており、当地の重要課題となっています。本実習では、フエ大学の協力のもと、エビ養殖場・ラグーン、マングローブの保全区域、森林・生物多様性保護に取り組む国立公園、横浜市が協力する浄水場などを訪問し、現地の方々の話を聞きます。また、フエ大学の学生達とグループワークを行い、現地の学生と共に、フエが抱える課題（環境問題及びSDGs）を考え、調査し、改善策を提案します。



研修プログラム概要

行き先	ベトナム・フエ
時 期	春季休業期間中
日 数	13 日間
費 用	約 25 万円
滞 在	ホテル

研修の様子



フエ大学との交流は現地の学生と意見交換の場となり、とても貴重な機会です。また、ハノイにあるUNDP（国連開発計画）ベトナム事務所を訪問し、国連機関の取り組みを学びます。

スケジュール（例）

DAY1	出発、ダナン着
DAY2	ダナンからフエへ移動
DAY 2 -8	フエの歴史・文化体験 浄水施設見学 エビ養殖場視察 国立公園見学 など
DAY9	フエからダナンに移動
DAY10	ダナン観光 文化体験ツアー
DAY11	ダナン観光 ダナンからハノイへ移動
DAY12	UNDP（国連開発計画） ベトナム事務所訪問
DAY13	帰国、ハノイから成田へ

学生の体験談

この海外短期研修に参加した理由は、現地の学生と関わり合えるということに魅力を感じたからです。特に印象に残っていることは、フエ大学の方々との交流です。フエ大学の教授や大学院生によるSDGs、ジェンダーについてのプレゼンテーションを聞く機会や、フエ大学の学生とグループをつくり、共に世界共通の環境問題への調査をする機会がありました。現地の状況を実際を目で見て学び、日本との比較をすることで、より学びを深めることができた研修でした。